



保育所卒園式



中学校卒業式

平成31年度 村長施政方針

(平成31年3月第1回定例議会にて)

野迫川村長 角谷 喜一郎

村民の皆様及び関係者の皆様におかれましては、村政発展のため何かとご協力を賜り誠にありがとうございます。

わが国の経済は、緩やかな景気拡張が続いておりますが、国際経済の動きによっては、日本経済も大きな影響を受ける可能性があります。先行きは不透明な状況でございます。

また、急速な人口減少と少子高齢化が進む中、喫緊の課題である年金、医療、介護、子育てをはじめとする持続可能な社会保障制度の確立や、地域の活性化と人口減少抑制をめざす地方創生の取組、更には、全国各地で発生している自然災害に対する防災・減災対策など、多岐にわたる諸問題への対応が求められています。

本村といたしましても、国際情勢や国の動きを的確に捉えながら、

村が持つ力を最大限に生かしつつ、村外の力もお借りしながら、村の活性化はもとより、村民の皆様が安全・安心に暮らすことのできる村づくりを進めてまいります。

そこで、平成31年度の村政運営に当たり、次の5つの事項を柱として施策を展開してまいりたいと存じます。

まず1つ目の柱は「地方創生実現への着実な取り組み」であります。

本村においても、平成27年度に策定した「野迫川村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられた新産業を創出する取組みとして、現在、「きのこの村づくり事業」に取り組んでいるところです。

この事業は、村有林をモデル的に一部皆伐し、人工林から広葉樹を主体とした自然林へと移行させ、原木シイタケ用のナラの木を育て

るとともに、本村で伐採された原木を使ったブランドシイタケの生産を行うもので、地域資源循環型の事業です。この事業により村内の雇用創出や、担い手の受入などを目指します。

また、観光面においては、例年の恒例行事である「平維盛の大祭」が、昨年は台風の影響で開催以来、初めての中止となりました。祭りの参加者は約1,500人まで増えてきており、村外の方々に対する認知度が高まっております。今年度は、天候にも恵まれるよう祈念しながら開催準備を進めてまいります。

また、平成31年4月に本村は村政130周年を迎えます。昨年度は、そのプレイベントとして「天空の國 のせ川モノがたり」と銘打った展示を奈良県立美術館で行い、多くの方々にお越しいただき

ました。

そして、本年10月には、村政130周年記念式典の開催を予定しております。関係者の方々、村民の皆様と一緒に130周年をお祝いし、野迫川村が今後も続いていくよう、故郷への思いを一つにしたいと考えております。なお、例年の文化祭や敬老福祉祭りは、記念式典との同時開催を計画しておりますので、お楽しみになさってください。

人口減少対策については、村内産業の活性化による担い手の受入とともに、旧北今西小学校を移住体験や地域の交流施設として活用できるよう改修いたしましたので、指定管理による運営委託を行ってまいりたいと考えております。移住希望者が本村を訪れるきっかけ作りとなるよう願っております。また、本村の玄関口に存する旧野

川小学校についても、有効活用について検討してまいります。

次に、2つ目の柱として「安全・安心に暮らすことのできる生活基盤の整備」を進めてまいります。

平成28年度より実施しております家庭ゴミの収集体制については、村民の皆様のご協力のもと継続実施しており、皆様の利便性向上や、資源のリサイクルとゴミの減量化による環境保護にも引き続き取り組んでまいります。

また、医療・福祉面においては、今年度も引き続き、南奈良総合医療センターや国民健康保険診療所、グループホーム「ゆうゆう苑」の運営などに村が主体的に参画すること、村民の医療・福祉体制の充実を図るとともに、平成29年度から運用が開始された奈良県ドクターヘリの活用や、奈良県広域消防組合野迫川分署の救急救命士による救急搬送の実施により、重篤な患者の拠点病院等への迅速な搬送が可能となっておりますので、安心して暮らせる体制となっております。

なお、村民の皆様への日々のお知らせや災害発生時の緊急放送に使用しております村内告知放送システムですが、設置から相当期間を経過し老朽化が進んでおりますので、万が一の場合を考え各種放送に遺漏のないよう機器の更新を行い、村民の皆様への安心・安全に取り組んでまいります。

また、生活面において必要不可欠な村道・林道については、今年度も継続して改良工事等を実施いたします。なお、林道北股弓手原線については、平成8年度から開設を始め、平成29年度時点での残延長は397mとなっておりますが、開設区間の途中には世界遺産熊野古道小辺路が横断しており、文化遺産を保護するためのバッファゾーン（緩衝地帯）においては林道の開設が出来ないため、延長239m、事業費約5億円でトンネルの施工を計画しています。なお、継続実施を予定しております地籍調査事業については、過年度事業分の認証請求作業を進め、県道の道路改良のきつかけ作りと

いたします。

3つ目の柱としては、「災害からの復興及び減災への取り組み」であります。

平成23年9月に発生した紀伊半島大水害により、本村では人的被害はなかったものの、複数の住宅が全壊するなど甚大な被害を受けました。

今後、南海トラフ巨大地震の発生や、異常気象による土砂災害の発生については、いつ、どこで発生してもおかしくない状況にあり、このような災害から生命を守るためには、日頃の備えが大変重要だと考えます。

本村におきましては、平成29年度から防災訓練を行っており、村民の皆様ご自身の身を守る行動をお取りいただくとともに、避難所への避難訓練を行っていただいております。平成31年度においても、防災訓練を継続実施し、災害発生時に迅速な避難行動がとれるよう、防災意識の向上に取り組んでまいります。

紀伊半島大水害で被害の大き

かった北股地区においては、旧北股小学校の改修工事を行い、地区の避難所や災害研修施設などに活用し、当該地区の完全復興に向け、更なる整備を進めてまいります。

4つ目の柱としては、「教育・文化の振興による魅力的な村づくり」です。

昨年度は、小学校・中学校にICTの導入をいたしました。本年度はICTを活用した授業・学習を推進するとともに、村外の学校との連携など、へき地教育の充実と、本村で行われます奈良県へき地教育研究振興大会の開催にも取り組んでまいります。

また、昨夏の猛暑を考慮し、効率的な授業が行えるよう小学校の音楽室等にエアコンを設置いたします。なお、保育所から中学校までの園児・児童・生徒に対して外国語指導助手による英語教育についても継続して実施してまいります。

最後に5つ目の柱としては、「行政改革の推進」です。

国保、税金関係の基幹系システ

ムが更新時期となっており、川上村、下北山村と三村共同でシステム更新することで、かかる費用の削減を図り、村民の皆様への住民サービスが滞ることのないよう、対応してまいります。

なお、「野迫川村総合計画」が改訂時期を迎えております。本村の将来像、人口予測などについて十分な検討を行いながら、「野迫川村総合戦略」とともに改訂を行ってまいります。

最後に、私は今年のキーワードとして「続」という漢字を掲げました。村民の皆様の笑顔が続くように、そしてふるさとである野迫川村が次世代、次々世代まで続いていくように、村の将来像を私が中心となって考え、村民の皆様とともに目標の達成に向け行動してまいりたいと思っております。

平成31年度予算編成の基本方針

続きまして、平成31年度の予算編成にあたっての基本方針について申し上げます。

本村においては、村税収入が極

めて少なく、自主財源を地方交付税に頼らざるを得ないのが現状であります。地方交付税は地方自治体の収入となる国税の一定割合を、国が示した人口及び面積など客観的指標に基づいた算定式により国が配分するといったもので、自主財源とは言いながらも国の裁量で、時には過疎地域に、時には被災地などに重点的に配分されるなど、不安定な収入であります。

国が示した地方財政計画では、平成31年度の地方交付税は、今年度を更に下回る見込みで、年々減少が続く大変厳しい状況となっております。また、今回の国勢調査により、算定基準の一つである住民の数は減少が予測され、ますます厳しい状況が推察されます。

また、過疎化の進行や少子高齢化など、地方の厳しい状況が続く中においても、村の存続・地域活性化のために、基金の取り崩しを最小限に抑え、限られた財源を効果的・効率的に配分しながら予算編成・執行することで、地方創生への歩みを確実に進めることが重

要です。

平成31年度においては、このことを念頭に置き、歳入と歳出のバランスを可能な限り維持しながらも、必要な施策には重点的に配分する予算編成を行いました。

予算規模ですが、一般会計につきましては、予算総額16億9,788万1千円となり、前年度比1.5%の減額となりました。

特別会計を含めた予算の総額は20億860万円と前年度比0.8%の減額となっております。

簡易水道特別会計が7,184万8千円で対前年比55.1%と大きく増加しておりますが、これは、老朽化した池津川地区の基幹改良工事を実施するためです。

また、国民健康保険特別会計では対前年度11.5%の減額となっておりますが、こちらは一般被保険者療養給付費などの推計精査による減額となっておりますが、村民の皆様を対象とした健康増進事業につきましては、昨年度同様に今年度も引き続き取り組んでまいります。

一般会計の歳入について、村税収入は約7,078万円と前年と比較して約158万円、約2%の増加となっております。また、主な財源である地方交付税については約7億3,935万円と前年度と比較して約1,370万円、約1.8%の増額を見込んでおりますが、これは、特別交付税予算額を精査したための増加となっております。

このように、歳入の自主財源の大幅な増加が見込めない中、国・県の補助金や交付金を積極的に活用して、真に必要な村の施策を重点的に実施するための財源を確保したところです。

歳出予算の主な増額費目及び増加額は、総務費で約4,973万円の増額、公債費で約2,154万円の増額、土木費で約2,062万円の増額となっております。一方、減額費目及び減少額は、農林水産商工費で約9,494万円の減額、消防費で約1,923万円の減額となっております。

今年度、本村は村制130周年を迎えます。記念式典を10月12日

に実施を予定しておりますので、多くの方にご参加いただければと思います。

情報・告知放送事業については、国保、税金関連の基幹システムの三村共同更新や、老朽化している村内告知放送庁内システムの更新を行い、住民生活に不都合が起きないよう、万全の体制をとってまいります。

また、野迫川村総合計画・総合戦略については、本村の将来像などについて十分な検討を行い、改訂いたします。

住民福祉関係については、安否確認システム事業やグループホームゆうゆう苑運営事業及び配食サービス事業を継続してまいります。

また医療面においては、平成28年度に開院した「南奈良総合医療センター」の運営に引き続き参画することで村の医療体制の充実強化を図るとともに、高齢者肺炎球菌やインフルエンザなどの予防接種業務や乳幼児歯科検診など母子保健事業、がん検診等の成人保健

事業などの保健事業も継続して実施してまいります。

住民の生活環境の充実については、平成28年度から開始したゴミ収集について、住民サービス・環境保護の観点からも継続実施してまいります。

産業・観光に関する施策として、国が新設する森林環境譲与税を活用した施業放置林整備事業や、広葉樹の森づくりと特用林産物の生産を行う、きのこの村づくり事業を引き続き実施し、村に新しい産業とそれに伴う雇用を創出します。

また、消費税増税に対する低所得者、子育て世代に対する施策として、プレミアム付商品券事業も実施します。

観光分野では観光施設の改修事業を実施し、より多くの観光客の誘客を図ります。

林道整備については、北股弓手原線やホラ谷立里線の開設工事などを引き続き実施するとともに、平川釜落線村単舗装工事等も実施します。

村道については、村道上垣内立

里線道路改良・舗装補修工事、上垣内水ヶ峰線災害防除工事や、上高野線道路改良工事などの整備を行ってまいります。

また、空き家対策事業として、旧北股小学校を地区の避難所、災害研修施設に活用すべく改修を実施するとともに、旧野川小学校の利活用についても検討してまいります。

消防関係については、奈良県広域消防組合野迫川分署運営にかかる負担金を計上しております。

教育関係につきましては、今年度、本村で行われる奈良県へき地教育研究振興大会や小学校・中学校におけるICTの活用促進、効率的な授業が行えるよう小学校音楽室等へのエアコンの設置など、へき地教育の推進に取組みます。

また、保育所・小学校・中学校を通じて、それぞれのステージにあった英語教育を継続実践し、グローバルな人材育成を目指します。

以上、平成31年度の一般会計と特別会計予算について説明申し上

げましたが、限られた予算の中においては、地方創生に係る取り組みなど、村にとって重要な事業を選択・集中し、健全な予算の執行が不可欠となります。

平成31年度においても、さらに厳しい財政事情に変わりはありませんが、効率的で無駄のない予算の適正執行を心掛けてまいります。

おわりに

以上、平成31年度の施政方針について申し上げます。

これら諸施策の実現は、私ひとりで成しえるものではございません。緊張感を持って誠実に、意思決定機関である議会や村民の皆様のご意見を伺いながら、職員と一丸となって全力を注いでまいりたいと考えております。

議員各位並びに村民の皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

平成31年3月6日

野迫川村長 角谷 喜一郎



議会の動き

平成31年3月

第1回定例議会



平成31年3月6日に招集され、12日に下記の報告1件、議案25件、諮問1件が議決されました。

報告第1号	専決処分の承認を求めることについて
議案第1号	野迫川村森林環境保全基金条例の制定について
議案第2号	野迫川村ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例について
議案第3号	野迫川村子ども医療費助成条例の一部改正する条例について
議案第4号	野迫川村心身障害者医療費助成条例の一部改正する条例について
議案第5号	半島振興法における固定資産税の特別措置に関する条例の制定について
議案第6号	過疎地域自立促進特別措置法に係る村税の特別措置に関する条例の制定について
議案第7号	野迫川村税条例の一部改正する条例について
議案第8号	野迫川村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第9号	過疎地域自立促進市町村計画（変更）について
議案第10号	平成31年度野迫川村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算
議案第11号	平成31年度野迫川村後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算
議案第12号	平成31年度野迫川村介護保険事業特別会計歳入歳出予算
議案第13号	平成31年度野迫川村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算
議案第14号	平成31年度野迫川村代替バス事業特別会計歳入歳出予算
議案第15号	平成31年度野迫川村温泉事業特別会計歳入歳出予算
議案第16号	平成31年度野迫川村分収造林事業特別会計歳入歳出予算
議案第17号	平成31年度野迫川村一般会計歳入歳出予算
議案第18号	平成30年度野迫川村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算（第3号）
議案第19号	平成30年度野迫川村介護保険事業特別会計歳入歳出補正予算（第3号）
議案第20号	平成30年度野迫川村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算（第3号）
議案第21号	平成30年度野迫川村代替バス事業特別会計歳入歳出補正予算（第2号）
議案第22号	平成30年度野迫川村分収造林事業特別会計歳入歳出補正予算（第1号）
議案第23号	平成30年度野迫川村一般会計歳入歳出補正予算（第12号）
議案第24号	野迫川村公の施設における指定管理者の指定について
議案第25号	変更請負契約の締結について
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について

一般質問 西田議員

【地方創生（きのこの村づくり）について】（産業課）

村が地方創生の柱として進めている「きのこの村づくり事業」ですが、今年の1月末で、地域おこし協力隊の方が退職したとお聞きしましたが現状並びに今後どのように進めて行こうと思われているのかお聞きします。

また、最近では村で働く人々も村から出て行く現状の中、他の地域から村に魅力を持ち夢やあこがれを持って来てくれる方々を私たち議会議員も応援し、一緒に村の活性化に協力していきたいと思っております。

しかし、今までも地域おこし協力隊のほかにも集落支援員や、ふるさと復興協力隊の方なども、なかなか村に根付いてないように思われます。

このことについて、どのようにすれば村に定住して、村の活性化につなげてくれるような人材の育成ができるか、方策など協議や検討していただけないでしょうか。どうぞ、よろしくお願いします。

【一般質問答弁】

野迫川村では地方創生の柱としてきのこの村づくり事業を推進しております。しかし、今年の1月末で地域おこし協力隊が退職してまた一からきのこ生産、販売体制をやっていただける方を募集しています。新しくやってくれ

る人が現れるまでは産業課職員で順番にハウスの管理をしているのが現状です。

村で働く人々も、家庭の事情や子供の教育、親の介護など、皆事情があって村から出ていくので、引き留めることはできません。

そんな中、村外から村へ来る方々もいるのです。村の為に村の活性化に協力してくれる人もいます。今までも、集落支援員の上本さんやふるさと復興協力隊の長谷川さんや地域おこし協力隊の横地さんがやってきてくれて、新しい風をもってきてくれました。

確かに、任用期間が終わってからも、村に根付いてくれた人は1名、平の長谷川さんだけです。その長谷川さんも拠点は奈良市ですが、吉野郡内の商品を集めて販売してくれています。

それは、議員がおっしゃるとおりなかなか村に根付いていないのが現状ではありますが、村の魅力をアピールして、野迫川村で仕事を見つけ、村に長く住み続けてくれる方法を考えていかなければなりません。

今現在地域おこし協力隊として2名の方が頑張ってくれています。1名は林業技術を森林組合で学んでもらい、地域おこし協力隊としての期間が終わってからは村の林業の担い手として村に定着してもらい、林業振興に携わってもらえると考えています。もう1名は村で野菜などの作物を作り、将来的にはレストランでその野菜を使った料理の提供をもらうなど村の新たな6次産業として活性化を目指してもらいたいと考えています。

そして、村で家庭を持ち、子育てをしてもらえるよう環境作りをしていく必要があります。村では、子供の医療費の無料化、保育料の無料化、給食費の無料化等、自然の中でのびのび子育てすることができる環境をつくっています。これは村外から来てくれる人たちも大事ですが村で子育てや生活をしてくれる人たちが満足しなければ、誰も来てくれないと思います。田舎には田舎のよさがあります、それをわかってくれる人を1名でも増やしていきたいと考えています。

一般質問 西田議員

【村のイベントについて】（産業課）

村の一大イベントと思っている、「平維盛の大祭」が昨年台風により中止になり大変残念でしたが今年こそは昨年できなかったことをバネに盛大に行い、村内外から多くのお客様に野迫川村を感じてもらいたいと思っています。そのためにも村の職員、村の各種団体そして議員の皆さんとも協力しあい、村の活性化に力を入れ小さな村でも頑張っているところをアピールできればと思っています。

それには、いつも産業課の職員の皆さんには実行委員会の事務局として、また、イベント開催の為に日夜遅くまで頑張ってください感謝しておりますが、産業課以外の職員も縦割りで仕事するのではなく、このイベントは、「村のイベント」と思い、みんなの力を借りて今まで以上のイベントにして欲しいです。

私も微力ながら協力しますのでどうか職員のみなさん、議会議員の皆さんの協力をお願いしたいと思います。

これについての村長のご意見をお聞きます。

【一般質問答弁】

村の一大イベントに「平維盛の大祭」と花火大会はなっておりますが、昨年は台風の影響により中止になりました。影響は大きく村内外から反響があり、平維盛の大祭がみんなに認知されてきたことがわかります。これは一重に、村会議員の皆様や野迫川村商工振興会や平維盛実行委員会、婦人会や村民の皆様のご協力あつての賜物と感じています。皆さんには大祭寄付金集めや草刈り、燈花会の設置、テントづくりやもちつき、などの大祭の準備、そして大祭が終わると片づけなど、大きな協力していただいております。本当にありがとうございます。村の活性化に繋がる祭であり、全国に平維盛の大祭をアピールしていきたいと考えています。

産業課は村の産業の振興のための仕事をしています。イベントのときは夜遅くまで頑張ってもらい、やるときはやる、やったあとは休むというメリハリをつけて仕事をするようにしております。人数の少ない役場なので、みんなが仕事をするように仕事のおしつけあいもなく自分が何をすべきか考え、率先して仕事をするように伝えていきます。

平維盛の大祭では総務課は消防団員の要請、消防設備の準備、防火水槽、大股漁業からの水の運搬など多くのことに携わっています。また、スロバキア大使の来村によるスロバキアブースの設営などを行っています。建設課は県道や村道、林道の維持管理をしています。教育委員会は、平維盛の御霊祭を担当しています。住民課は率先してごみ処理等の段取りをしています。

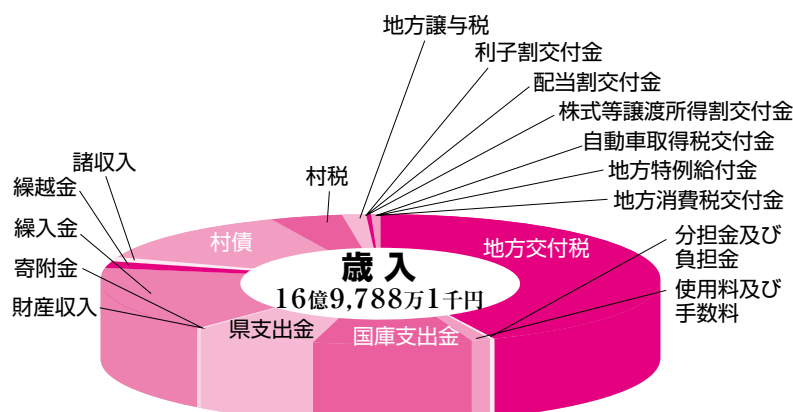
平維盛の大祭、文化祭、敬老福祉祭りなど毎年決まて行うイベントは前もって準備や工夫ができます。改善すべきところがあればどんどん前向きな意見を出し合ってより良いものにしたいと思っています。今年も平維盛の大祭を7月27日土曜日に実施しますので、皆さんの変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。議員の皆さんからも協力の呼びかけ等をよろしくお願いします。

平成31年度 一般会計予算

1. 村税	70,784
2. 地方譲与税	23,920
3. 利子割交付金	107
4. 配当割交付金	448
5. 株式等譲渡所得割交付金	170
6. 自動車取得税交付金	2,703
7. 地方特例給付金	10
8. 地方消費税交付金	9,109
9. 地方交付税	739,353
10. 分担金及び負担金	2,162
11. 使用料及び手数料	19,693
12. 国庫支出金	156,275
13. 県支出金	123,321
14. 財産収入	1,043
15. 寄附金	1,600
16. 繰入金	279,968
17. 繰越金	30,000
18. 諸収入	16,215
19. 村債	221,000

〔単位：千円〕

歳入 16億9,788万1千円



財政用語辞典 歳入

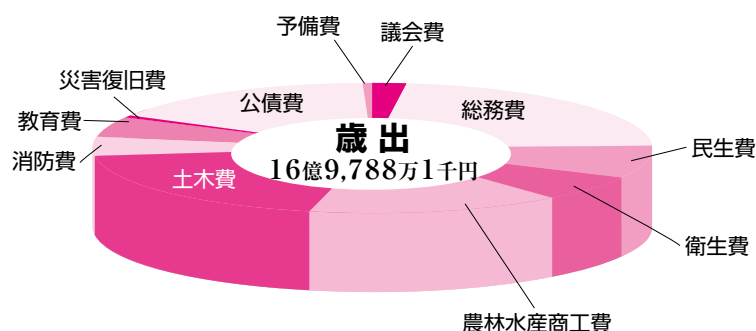
村税→みなさんに納めていただいた村民税や固定資産税など。
地方交付税→所得税など国が徴収する税金の中から、村の状況に応じて交付されるお金。
村債→大きな事業を行うために、国や県、金融機関から借り入れるお金。
国・県支出金→特定の事業の財源として国や県から交付されるお金。

使用料及び手数料→村の施設を使ったり、住民票などの交付にみなさんが支払うお金。
地方消費税交付金→地方消費税（消費税8%のうち1.7%）の中から交付されるお金。
分担金及び負担金→特定の利益を受ける人から徴収するお金。
繰越金→前年度の決算から繰り越したお金。

1. 議会費	37,467
2. 総務費	377,977
3. 民生費	139,014
4. 衛生費	109,050
5. 農林水産商工費	249,723
6. 土木費	330,043
7. 消防費	81,801
8. 教育費	84,779
9. 災害復旧費	9,200
10. 公債費	273,827
12. 予備費	5,000

〔単位：千円〕

歳出 16億9,788万1千円



財政用語辞典 歳出

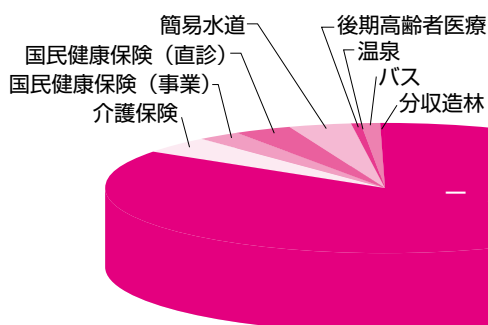
議会費→議会運営のために使うお金。
総務費→村の総合的な管理経費や自治振興などに使うお金。
民生費→福祉サービスなどに使うお金。
衛生費→住民検診・ごみ処理などに使うお金。
農林水産商工費→農業振興や林業振興、観光事業などに使うお金。

土木費→道路を整備するために使うお金。
消防費→防火設備の整備、消防団運営等に使うお金。
教育費→学校の運営や公民館など、教育の振興のために使うお金。
公債費→村債（借り入れ金）を返済するために支払うお金。

平成31年度 歳入歳出予算

一般	1,697,881
介護保険	82,711
国民健康保険 (事業)	52,541
国民健康保険 (直診)	69,239
簡易水道	71,848
後期高齢者医療	10,795
温泉	1,001
バス	17,584
分収造林	5,000
合計	2,008,600

〔単位：千円〕



野迫川村各課の分掌事務

(平成31年4月1日現在)

村長	角 谷 喜一郎	副村長	中 本 浩 三
教育長	中 迫 喜 昭		
出納室 会計管理者	根本 幸司 二神 由里加	建設課 建設課長 参事	鶴谷 純也 田中 裕崇 坂本 龍一
総務課 総務課長	油谷 泰成 太田 一馬		南 圭太 林 明代 伊藤 喜康 尾崎 伸二
	金丸 まどか 今西 麻美		
	辻本 明日翔 宮村 淳平	産業課 産業課長	吉井 善嗣 津田 克則 深澤 潤一 中敷 邦幸 杉谷 均 菊谷 栄次 井上 政則
	津田 真衣	バス係	
住民課 住民課長 課長補佐	山本 一尊 竹田 麻祐美	教育委員会 教育課長 課長補佐	糀 弘城 加藤 容史子 小西 達也 井上 望美 池口 三千夫
	金丸 英樹		
	中田 有香 廣畑 直人 西浦 諒 河北 自靖 竹ノ内 沢 大西 高史	議会事務局 事務局長	梶谷 豊典 中敷 邦幸 辻本 明日翔 南 圭太
保育所	中迫 朋子 中本 久美 倉谷 啓子	監査事務局 事務局長	梶谷 豊典 (兼務)
診療所 所長 事務長	天野 雅之 二神 茂治 梶谷 麻実 阪本 智子 倉岡 由紀江	社会福祉協議会 事務局長	山本 一尊 (兼務) 丸田 耕嗣 菊谷 ゆかり 南 あかり
			事務・有償送迎 事務・ヘルパー・ 有償送迎 事務・ヘルパー・ 有償送迎

総合型地域スポーツクラブからのお知らせ

フットサル教室 5月15日(水) 19:00～

6月19日(水) 19:00～

※本年度より、健康教室は実施しませんので、ご了承ください。

初めての方でも大歓迎です。皆様ご近所お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

上記の予定は変更になることがあります。ご了承ください。

(問合せ) 野迫川村総合型地域スポーツクラブ事務局(野迫川村教育委員会内)

TEL 0747-37-2101

野迫川村へき地保育所発表会・卒園式

3月22日(金)に野迫川村へき地保育所発表会と卒園式が行われました。今年度の卒園児は南龍之介くんです。

発表会では園児みんながうたやあやとりや鍵盤ハーモニカなどを披露しました。たくさんの拍手に包まれ楽しい発表会になりました。

その後の卒園式で、龍之介くんは在園児からお祝いの花束を贈られ、緊張しながらも堂々とした姿で感謝の言葉を述べました。4月からはピカピカの一年生。ランドセルに夢と希望をいっぱい詰めて、元気でがんばってください。



野迫川中学校卒業式

3月15日(金)に、野迫川中学校第47回卒業証書授与式が行われました。今年度の卒業生は阪本 翔太くん、更谷 乙百望さん、林 陽さん、山田 透吾くんの4名で保護者や来賓の方が温かく見守る中、堂々とした態度で卒業証書を受け取り、厳正に進行しました。そして、たくさんのお祝いや励ましの言葉を受け、元気に中学校を巣立っていきました。



野迫川小・中学校入学式

平成31年度入学式が4月9日(火)に、小学校新入生の南龍之介君を迎えて行われました。天候にも恵まれ、暖かな日差しの中で龍之介君はピカピカのランドセルでご両親と共に登校しました。入学の喜びとともに少し緊張した顔で学校に入りましたが、上級生の小学生・中学生にあたたかく迎えられ、来賓の方々、保護者PTAの方々、先生方など多くの人に囲まれて、祝福を受けながら一人でも大きな声で返事するなど、立派に入学式を終えることができました。



てんいち先生



診療所だより



みなさん、はじめまして。診療所の天野雅之（あまの まさゆき）です。

根津大樹先生の後任として4月から赴任いたしました。歴代の先生方とは、切畑屋先生は私の中学・高校・大学の大先輩で、西岡先生は同級生にあたります。専門は「総合診療」で、高血圧や怪我、糖尿病、その他のよくある健康問題が得意です。切り傷、

お薬の調整や耳掃除、爪切り、その他どのようなことでも構いませんので、どうぞお気軽にご相談ください。

野迫川村には今までも研修等でお世話になっており、奥吉野の中で最も親しみのある村でしたので、赴任できてとても嬉しく思っています。先日、夜空を見上げると満点の星空に大変感動しました。日常診療を通じて村に貢献するとともに、雲海やホタル、あまご、わさびなど、村の豊かな自然も含めて野迫川村を満喫したいと思います。

野迫川村のこと、皆さんのこと、是非たくさんお話をきかせてください。

それではこれから、どうぞよろしくお願いします。

野迫川村国民健康保険診療所 所長 天野雅之

GW 期間中のお知らせ

平成31年4月27日（土）～令和元年5月6日（月）まで

村営バス・野迫川村役場・野迫川村国民健康保険診療所・野迫川村社会福祉協議会は、連休並びにお休みとさせていただきます。皆様方のご協力よろしくお願いいたします。

※急な問い合わせ等は、宿日直が対応しますので、役場（0747-37-2101）までご連絡ください。

のせ川歌壇

節分だ
鰯の頭柙を門に立てたり
鯨丸齧りして

吉野 武文

平成も
後わずかなり後の世も
光り輝く平和であれかし

西前 睦代

吾が動きに
年の鯖読む五つづつ
今日は上にと炬燵に座る

中田 敬子

枯れ草に
うもれて咲きし
野の花に遅き春の訪れ見つけり

中西 章

裏山の
木々の中よりしきり啼く
桜咲けよと鶯なけり

西本 良子

雑草の
生い来る庭に芝草を
植えらば鹿に食い荒らされる

小倉 徳太郎

山茶花も
花を納めてみどりよき
葉の新しき一樹となれ

孤山

野迫川奈良女塾

3月25日(月)～3月28日(木)の4日間、旧野迫川中学校において、奈良女子大学主催で、村の小・中学生向けに「第7回野迫川奈良女塾」が開講されました。

午前中は個別のワークブックをもとに集中して学習し、午後は学習のほか、パソコン教室、スポーツ、クッキング、映画鑑賞など、様々なプログラムが用意されていました。

受講した小中学生は7名で、分からない問題を大学生に質問したりと、大学生との交流を深め、とても充実した4日間を過ごしていました。

